

# 令和6年度指定管理施設財務状況点検結果

## 対象施設:クアーズテック秦野カルチャーホール

【指定管理者名：みんなの文化会館はだのパートナーズ】

指定管理者が安定的に継続して公の施設の管理・運営を行うことができる状況にあるかを確認するため、専門家による財務状況点検を実施しました。対象施設の指定管理者である次の企業の結果の概要についてお知らせします。

構成企業名	評価	所見
株式会社タウンニュース社	施設運営に問題なし	主たる収入減は紙面の広告、枠販売で広告枠を広告主に直接販売しており、広告代理店を経由しても販売している。2024年以降、東京証券取引所のスタンダードに上場しており、有価証券報告書に企業情報を開示している。財務状況は良好である。
タウンニュースエンターテインメント株式会社	施設運営に問題なし	コロナ禍によりイベントが急減し、数年営業損失が続いたが、令和5年6月期において、クアーズテック秦野カルチャーホール売上に特化し、これまでの貸室やカフェ飲食などの事業を大幅に縮小したため、売上高が減少した。今後の施設運営による売上げの動向に注視したい。
株式会社サウンドダック	施設運営に問題なし	コロナ禍の影響で、一昨年度まで売上げが低迷し、当期損失が続いていたが、令和5年6月期から回復傾向となり黒字転換した。今後の黒字継続を注視したい。
株式会社関野建設	施設運営に問題なし	決算書によると2020年以来、売上減少が続いているが、最新期決算書によれば、売上原価の圧縮により最終利益の増加を実現している。現時点で手持ち資金に懸念は見られないが、今後の売上げの動向に注意が必要である。
株式会社日動計画	施設運営に問題なし	令和4年度、令和5年度と純損失が続き、特に直近期は、純損失が拡大している。現時点で手持ち資金に懸念は見られないが、今後の売上げの動向に注意が必要である。